

嘉麻市社協だより

それぞれの
目標に向かって
～嘉穂中学校陸上部～

えがぁ

発行日 2010.12.1

No.58



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com



空き家の不安 まかせて安心

市内を回っていると、ポストの中に郵便物がたくさんたまったり、草が伸びている空き家を目にする機会が増えたように感じます。みなさんのご近所にも、そんな空き家はありませんか？

本会では、昨年8月から空き家の管理を通じて、所有者に安心をお届けすることはもちろん、地域の環境保全や防犯につなげる『空き家管理住まいるサービス』を実施しています。現在、3名の方に通風や換気、郵便物の整理・転送、台風の接近及び通過後の巡回などを通じて安心をお届けしていますので、その内容を紹介します。

★ 管理対象となる家屋

嘉麻市内にある家屋で、本人、配偶者、子、または本人の父母のいずれかが所有となっていること

★ 利用できる方

下記のいずれかの理由によって、現在家屋の管理ができない方

①市外、県外在住 ②長期出張、転勤 ③入院、施設入所

★ 利用条件

本会の会員(年額1,000円)に加入すること

★ サービス内容・利用料金

項目		内容	料金
基本サービス		通風・換気、通水、敷地内のチェック、雨漏りのチェック、内部のチェック、外部のチェック、有事後の巡回、郵便物の整理・転送を行います。	3,000円/月
サ ー ブ ィ シ ョ ン	掃除	建物内部及び駐車スペース等の掃除を行います。	内容により異なります。 事前に見積もり相談を承っています。
	近隣訪問	ご指定された近隣を訪問し、連絡事項等の確認を行います。	
	庭の草刈	草刈機を使用して、庭の草刈を行います。	
	庭の草とり	手作業により草とりを行います。	
	庭木の剪定	敷地内の庭木の剪定を行います。	

★ 利用手続き方法

利用申込書に必要事項を記入し、火災保険・家財保険加入証書の写しを添えて、申請ください。利用決定後、ご希望等を伺いながら、管理計画書を作成し、契約を取り交わします。

越冬支援物資を継続募集

10月1日発行の本紙NO.56で、ホームレスへの越冬支援物資を募集したところ、11月15日現在、男性用ジャンパー21枚、毛布10枚、マフラー1枚を提供いただきました。北九州ホームレス支援機構によると、現在、毛布や男性用ジャンパーが不足しているそうです。

そこで本会では、右記物資を来年1月末まで継続募集することといたしましたので、使っていない毛布やジャンパーがありましたら、ご協力ください。

【募集期間】

平成23年1月末まで

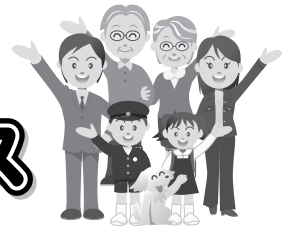
【募集する物資】

男性用ジャンパー(特にS、LLサイズ)、毛布、軍手、手袋、マフラー

【お届けいただく際の注意点】

- ・上記以外の物資はご遠慮ください。
- ・物資は使用可能で、洗濯されたものに限りです。
- ・物資を確認させていただき、汚れや損傷がひどい場合はお断りすることもあります。





知り合おう 伝えよう みんなの活動、地域のホットニュース

もっと練習して

来年こそは・・・

嘉穂中学校陸上部に所属する伊藤雄太さんは、10月22日(金)に日産スタジアム(横浜市)で開催された第41回ジュニアオリンピック大会の「C(1年生)男子走り幅跳び」に出場しました。

小学生までサッカークラブで活躍していた伊藤さんは、中学校入学後、先輩からの誘いで陸上部に入部しました。短い期間でめきめきと力をつけ、9月に本城陸上競技場(北九州市)で行われた同大会の最終選考大会で基準を上回る記録を出し、同校で初となる本戦への出場権を得ました。

大会前はトレーニングや食事制限で、万全の調整を行って競技に挑みました。当日は予想以上の寒さも影響し、目標の6mにはわずかに届かなかったものの、5.75mで5位入賞(46選手中)を果たしました。

しかし、「結果には満足できず、悔しい気持ちが大きいです。来年もう一度出場して良い成績を残せるよう、これから練習していきたいです。」と力強く語るその目は、すでに来年を見据えています。



同校の陸上部は伊藤さんの走り幅跳びだけでなく、400mリレーや走り高跳びなどの競技で、優秀な成績を収めており、これからのさらなる活躍が楽しみです。

念願の

金メダル獲得

下白井のケアホーム「とうきびの家」で生活している横山アリサさんは、10月23日から3日間行われた第10回全国障害者スポーツ大会「ゆめ半島千葉大会」の陸上競技「ビーンバッグ投げ」に出場しました。

この競技は、150gの豆が入った12cm四方の袋を3回投げて、最も遠くまで飛んだ距離を競うものです。横山さんがこの競技を本格的に始めたのは、今年の5月に行われた福岡県身体障害者スポーツ大会からです。横山さんはこの大会で8m38cmの記録を出して見事優勝を飾り、全国大会への切符を手に入れました。

それ以降、ビーンバッグがぼろぼろになるほど毎日練習を重ねて全国大会に臨みました。この競技に出場した6名は、それぞれが都道府県大会で優秀な成績を収めた強豪ばかり。その中でも緊張することとはなかったという横山さんは、1投目こそ失敗するものの、2投目、3投目を成功させ、2位の選手におよそ1メートルの差をつけて、見事金メダルを獲得しました。

横山さんは、「大会に出発する時、ホームの仲間から『金メダルを持って帰ってきてね』と声を掛けられたんですけど、まさかそれが現実になるとは思いませんでした。仲間の声援に応えることができたこと、そしてみんなが祝福してくれたことがとてもうれしかったです。」と、金メダルに目をやりながら話しました。



次なる目標は、2年後にスラローム(車いすの操作を競う競技)で全国大会に出場することだそうで、横山さんのチャレンジは、これからも続きます。



地域福祉権利擁護事業 生活支援員として思うこと

「Aさん、こんにちは」。月に1度ないし2度程度自宅や施設等を訪問し、生活に必要なお金を金融機関から払い出してご利用者に手渡し

たり、また、公共料金の支払いや市役所等での手続きの代行、郵便物の確認などを行って、日常の生活が継続できるように支援するのが、地域福祉権利擁護事業の生活支援員としての役割です。

この事業は、住み慣れた地域で自分らしく暮らしたい、と誰もが願うその思いを実現していくためのサービスの一つとして、平成11年10月にスタートしました。その対象は、認知症の進行や知的障がい、精神障がいがあること

利用され、その数は、相談を含めて年々増加しています。

支援に携わる生活支援員として、最近感じているのは、ご利用者の多くは(全てではない)これまでの生活の中で、家族や親せきなどとの関係が悪化してきていたり、地域の中で孤立してしまっている面があるため、その部分の修復や再構築、さらには、仲間や居場所づくり、関係機関

(ヘルパー事業所・保護課・病院など)との連携による生活全般に渡る支援こそが必要ではないか、ということでは言い換えるならば、単なる金銭の管理に終始するだけでは、誰もが理想とする生活の実現は難しい、ということにほかなりません。また、財産の相続や処分等の問題が出てきた時には、この事業では対

応できず、成年後見制度へ移行していくことも必要となつてきます。

当初からこの事業は、社会福祉協議会(事業主体は都道府県社協、実施主体は市町村社協)の事業として社会福祉法に位置づけられています。そこには、地域福祉の視点(地域住民への福祉の啓発、住民や関係機関とのネットワークづくり、ニーズに対応した新たな事業開発など)を持つ

た支援こそが必要であり、それが可能なのは社協であるとの期待が込められているように思っています。これからも、常にその思いを胸に、まずは、利用者のよき相談相手となることを心がけ、係わりを深めていければと考えています。

新たな気づきがたくわん

普段何気なく利用している施設も、高齢になったり、障がいがあると、利用しづらい部分がたくさんあるようです。

11月12日(金)、碓井小学校の4年生は、総合学習の時間に碓井地区にある施設のバリアフリーチェックを行いました。

児童の皆さんは、これまでに「碓井は年齢や障がいの有無に関係なく、誰もが生活しやすいまちなのか」ということを調べるため、車椅子で生活されている方や高齢者の方から直接話を聞くなど事前学習に取り組み、この日を迎えました。

担任の先生は、「これまで学んだことを思い出しながら、実際にどのような工夫がされているのか、また必要なのか見てみてください」と児童に呼びかけ、授業がスタート。4班に分かれて、車いすを使用するなどして、小学校から碓井庁舎と道の駅うすいに続く道のりや同施設の内部の状況について調べていきました。

児童の皆さんからは、「車いすで移動すると、店内の通路が

狭く感じた」、「案内板がみんなが見やすいように工夫されていることがわかった」、「トイレの外に異状を知らせる回転灯が設置されていることを初めて知った」などたくさんの気づきの声があがりました。

学校では、今回の取り組みを通じて気づいたことや感想を各班でまとめ、発表しあう予定にしているそうです。今後、さらに学習を深め、この気づきの視点を日常生活の様々な場面で見かしてもらえれば、少しずつ誰にとっても優しいまちに近づいていくのではないかと感じながら、現場を後にしました。



親子でくつろぐ楽しいサロン

毎月第二水曜日、午前10時30分から碓井千歳会館において「おしゃべりサロン」を開催しています。

このサロンは、子育て中の方や子どもたち、ボランティアの方が集まって、いろいろな相談や情報を交換する場です。最近、毎回のように参加者が増えて、賑やかな時間となっています。

サロンの様子は、嘉麻市社協のホームページにリンクしてある子育て情報ブログからご覧いただけます。

どなたでも参加できますので、ぜひ遊びに来てください。

今後の予定

12月 8日 クリスマスパーティ
1月 12日 福笑いで大笑い
2月 9日 スクラップ・ブッキング
3月 9日 ひなまつりパーティ

お問い合わせ・お申し込み先

嘉麻市社会福祉協議会 TEL 0948-42-0751

E-mail info@kama.syakyo.com



こども目線の情報満載

「こども目線♥かまっぴ♥」NO.4を12月1日に発行しました。前号で紹介した「オムツを洗濯してしまった時の対処法」には、試してみた方から、効果抜群でしたとの声が届きました。

今回も、子育てに奮闘する中、新メンバーも加わり編集作業を行いました。NO.4には、子育てに優しい施設として織田廣喜美術館の特集や子育て支援センターの紹介、簡単レシピ、出産体験記などたくさんの情報を掲載しています。この情報紙は、市内の各図書館や子育て支援センターなどに置いてありますので、ぜひご覧ください。また、ご意見、ご要望がある方はお気軽にご連絡ください。

社協ホームページや携帯電話からも見ることができます。

<http://kama.syakyo.com/kamappi>

嘉麻市社会福祉協議会 TEL 0948-42-0751



かまっぴメンバーも
募集中です。



生まれ変わるアルミ缶

アルミ缶をお寄せいただく際の注意点

- ①アルミ缶は、水洗いをして、横にしてつぶしてください。
- ②缶の中にタバコやゴミ等はいれないでください。
- ③スチール缶は、受付ておりませんので、混入しないようお願いします。

本会では、アルミ缶のリサイクル活動に取り組んでおり、今年の4月から9月までに市民のみなさまから寄せられた総重量は、490kgにもなりました。ご協力ありがとうございます。

この貴重な資源は、日中一時支援事業等障がいのある子どもたちのために活用させていただきますので、今後ともご協力をお願いします。



ボランティアグループ紹介 No.8

わくわくマジック山田

今回は、「マジックで地域に笑顔」を合言葉に活動をしている『わくわくマジック山田』をご紹介します。

このグループは、平成17年に旧山田市社協が主催したマジックボランティア養成講座の受講者が中心となって発足しました。その後、徐々にメンバーが増え、現在は、小学生から高齢者（最高齢84歳）まで幅広い世代の方々が一緒に活動しています。市内を中心に福祉施設や行政区から、年に10件を超えるショーの依頼を受け、みんなが笑顔になれるマジックを披露しています。毎月開催している定例会では、メンバー同士で得意なマジックを教えあったり、道具の貸し借りをしたり、和気あいあいと楽しい時間を過ごすとともに2カ月に1回講師を招き、レベルアップを図っています。



グループからの一言

マジックを見た方の驚きの表情や笑顔が私達の活動の源になっています。一緒に活動していただける方を募集しています。初心者の方でも大歓迎ですので、マジックに関心がある方は、ぜひ遊びに来てください。

活動日時 毎月第1土曜日 10時～12時
場所 山田市民センター
会員数 16名
代表者 田端和子さん

ボランティアイベント情報

クリスマス会のお手伝い

本会が行う日中一時支援事業のクリスマス会で子どもたちと一緒に過ごしてくれる方を募集します。

日時 12月24日(金) 10時～15時

場所 嘉麻北日中一時支援事業所
旧はぐるま工芸舎
(鴨生339 県立嘉穂特別支援学校裏)

活動内容 クリスマス会催し物の補助等

募集締切 12月10日(金)

備考 冬休み期間中の子どもたちの遊び相手、宿題の補助などのボランティアも同時募集しています。
12月22日(水)～1月10日(月)
(日曜日・年末年始を除く)
9時～17時までの間で、活動可能な時間帯。

かたらい喫茶トロッコ クリスマスミニコンサート開催

障がいを持つ子どもとその家族、ボランティアとで運営しているかたらい喫茶トロッコでは、クリスマスミニコンサートを開催します。今回はお二人のゲストをお招きしています。

日時 12月25日(土) 13時～14時

会場 かたらい喫茶トロッコ(山田図書館横)

内容 子ども達の歌やピアノ演奏。
ゲスト:シンガーソングライター
さくらい英夫さん
フルート奏者
中西智子さん
飛び入りで皆さんの歌や演奏披露も大歓迎です。



10月に開催された秋色コンサートの様子

◎入札参加業者募集 《配食サービス弁当容器》

本会では、一人暮らし高齢者等の方々に夕食のお弁当を365日届けて、安否の確認などを行う配食サービスを実施しています。この度、この事業に使用する弁当容器の入札に参加いただける業者を下記のとおり募集します。

1. 参加資格

指定した弁当容器と汁カップを毎月指定した場所に納品することができる業者
(市内外は問いません)

2. 受付期間

平成22年12月1日(水)～平成23年1月21日(金)
午前8時30分～午後5時まで(但し、土・日曜日・祝日、12月29日～1月3日は除く)

3. 受付場所

嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内
社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

4. 申込用紙等

嘉麻市社会福祉協議会に準備しています。お申込みをいただいた際に、入札実施要項及び仕様書等をお渡しします。

ふれあい千歳新聞

◎指定管理施設 年末年始休館のお知らせ

山田ふれあいハウス

【休館日】

12月28日(火)～
1月4日(火)



碓井千歳会館

【休館日】

12月29日(水)～
1月3日(月)



千歳会館にたくさんの来場者 第3回フリーマーケット開催

10月17日(日)は、秋らしい爽やかな晴天に恵まれたこともあって、会場となった千歳会館の駐車場は、開店準備をする出店者と開場を心待ちにする来場者で、朝早くから賑わいをみせ、普段とは趣を一変しました。

フリーマーケットの醍醐味は、何といたってもお客さんとのふれあいにこそあります。各ブースでは、品物にまつわる思い出話に花がさくとともに、値段交渉などもあちこちで行われていました。

また、会場の一角に設けた子育てリユースコーナーには、何があるのかと興味深げに足を止める方もあり、子どもや孫のためにと使える品物を見つけて、持ち帰る姿もありました。

当日の来場者は、これまでで最も多い300名を超え、会場は、終日笑顔と笑い声が満ち溢れていました。



法人運営 INFORMATION

新委員選出 苦情解決第三者委員

この度、任期満了にともなって、苦情解決第三者委員が新たに選出されましたので、お知らせいたします。

任期は平成24年8月31日までです。

◆新委員(順不同・敬称略)

氏名	選出区分
末次 昭枝	民生委員児童委員
桑名 多恵子	民生委員児童委員
福田 哲也	司法書士

嘉麻市の住民の皆様から、
ご寄附をいただきました。
心より厚くお礼申し上げます。



寄附・香典返し

10月16日～10月31日受付分

〔漆生老松〕

親族 半田 一宏様

故 半田 一徳様

鴨生第一

漆生中央

平山

迎迫 里美様

横山 貴代美様

實藤 仁美様

〔新原〕

親族 猿本 照美様

故 猿本 久則様

石ヶ崎

三日町

飯塚市

渡邊 美千代様

大村 人美様

上田 千春様

〔三日町〕

親族 大村 勝彦様

故 大村 京作様

飯塚市

松岡

〔アルミ缶〕

樋渡

下白井東

六四田

百々谷

西川

下宮

嘉穂才田

上半隈

セレモニーホールおおつか様

藤春 喜代士様

匿名 名様

松田 敏雄様

橋本 利根様

田中 守様

仲道 庸正様

大屋 由美様

匿名 名様

〔リングプル〕

石ヶ崎 渡邊 美千代様

大橋 武田 ハマ様

古河 甲斐 良子様

〔古切手〕

石ヶ崎 渡邊 美千代様

NTT退職者の会

筑豊地域協議会

パソコン教室一同様

〔使用済みテレカ〕

才田日吉 奥 シツエ様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々に
加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

10月16日～10月31日受付分

〔個人会員〕

〔西岩崎〕匿名

〔鴨生北町〕中嶋亜紀子

〔平第二〕宮崎紀久子、田村テ

ル子、篠崎良輝、田中正孝、陶

山茂、大庭勝三郎、中村朋子、

砂浪喜信、竹川富士松、金本

一郎、加地タクシー、松隈勇夫、

荒木勝英、花田匡哉、地藏原

満隆、井上博隆、富山澄等、三

宅末子、辛島貴嗣、西野はつ江、

松隈タケ子、野川勝博、日田

キヌ子、菅原尚孝、島田鋼一、

松岡俊秀、井下雄次、尾畑ア

サ子、松本信子、西村富士子、

大園節子、山室伸次、野口明美、

金国大介、手柴敏幸、富永政広、

伊藤英暎、大城淑子、倉智康治、

山口末美、女鹿野義文、川根

敬子

〔緑ヶ丘〕坂川一義

〔銭代坊〕森田千恵

〔大橋〕大村月代

〔三菱第二〕辻岡昭子

年始のあいむらに
あひむらに
あひむらに

ふるさとの風景 ポストカード 好評販売中

嘉麻市の昔懐かしい風景をはがきにしたポストカード「ふるさとの風景」(4枚1セット/200円)が大変好評です。

ポストカードは、社協事務局(稲築住民センター内)の他、カッホー馬古屏でもお買い求めできます。



4枚1セット
200円

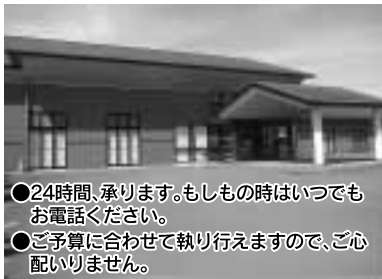
カッホー馬古屏

嘉麻市牛隈882番地1 ☎0948(57)2222
営業時間/午前8時30分～午後5時

嘉麻市社会福祉協議会指定
葬祭場紹介

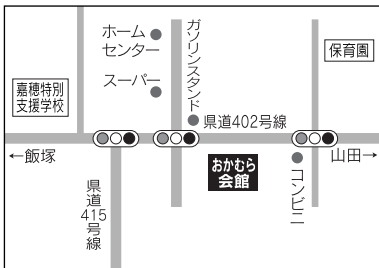
おかむら葬祭岡村会館 嘉麻市平1133 ☎(0948)42-4420

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします。」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



- 24時間・承ります。もしもの時はいつでもお電話ください。
- ご予算に合わせて執り行えますので、ご心配いりません。

[案内図]



知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 no.43



今回ご回答頂くのは…
おかむら葬祭岡村会館
岡村勝子さん

Q 自宅で葬儀を行いたいと考えているのですが、どのくらいのスペースがあれば可能でしょうか？

A ご自宅での葬儀は様々なので、広さの決まりは特にありません。弔問客の人数や、ご自宅の広さにあわせて祭壇などを設営しますので、依頼される業者に直接お尋ね下さい。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、おかむら葬祭岡村会館を含め、市内に8カ所あります。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 飛鳥会館 南斎場……………☎42-4241 | セレモニーホールおおつか…☎52-1212 |
| きど葬祭やまさ碓井斎場…☎62-4499 | かほ葬祭 あじさい会館…☎62-5566 |
| ひさつね会館……………☎52-0758 | 善光会館 稲築会場…………☎83-5000 |
| いすや会館……………☎57-4444 | |

1月の総合相談

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申込みください。

法律相談

- と き: **1月6日(木)** 13:00~16:00
と ころ: **山田ふれあいハウス**
- と き: **1月20日(木)** 13:00~16:00
と ころ: **稲築住民センター**

心配ごと相談

- と き: **1月12日(水)** 13:00~15:00
と ころ: **稲築住民センター**
- と き: **1月26日(水)** 13:00~15:00
と ころ: **稲築住民センター**

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

炭鉱町稲築での我が思い

かつて横浜から帰省の時、稲築町に近づくにしたがって霞んでいた関の山がはつきり見えてくると何となく心が安らぎました。20年近く住んだ思い出多い場所でもあるからでしょう。

昭和20年8月終戦間もなく満州から釜山経由で下関に引き上げてきたのが、私2歳の時、父の実家での大牟田に暫く居て昭和22年に父が三井山野病院の勤務により田中山在住が稲築町に住む始まりでした。当時、銭代坊の共同浴場には、直径10m位ある風呂が二つ有り、姉の背中に乗って風呂での遊びが思い出されます。この大きな風呂は炭鉱の町に住んだ人しか覚えがない事でしょう。また、銭代坊の商店街の裏には池があり、当時はボートが浮かび、何度か乗った記憶があります。まだまだ炭鉱の景気が良い頃だったので、町も人も商店も活気が有り、祭り、盆踊りと地域の生活は貧しかったけど元気で生き生きとしていた時代でした。

田中山から枝坂に移り、漆生線のSLが側を走る場所だったので学年の私には嬉しくてたまりませんでした。夜になれば自宅からの山野炭鉱の裸電球の夜景が今でも思い浮かびます。トロツコ電車が石炭を積んで行き交いピーツとなる笛、堅坑の巻き揚げ機のランランという音、たまに通る漆生線のSLの汽笛と、今振り返れば光と音のコラボレーションでした。こんな情景の中の生活も中学・高校と過ごす内に炭鉱の事故や、不況のあおりで、クラスメートが集団就職で、それから一家して稲築を去る人を見送る。これで故郷の火が消えるのかと寂しさを感じました。ただ、私の過ごした18年の稲築での思いは消えることのない炭鉱町で生きた我が人生です。最近稲築に帰る機会に感じるのですが、すっかり炭鉱の面影はなく、道路の整備、河川の整備、そしてかつての炭住長屋も近代的な住宅へと建て替わり、昔遊び回った場所も変わりましたが、そこに住む人の言葉と触れ合いの暖かさは私の心が和む時でもあります。風景は変わっても、稲築の空気はいつになっても変わらないのが私の故郷への思いでしょうか？

横浜在住も40年が経ち、いつも故郷のことはなんでも気になるものです。この良き稲築も合併により、嘉麻市となりましたが、稲築の文字の響きはそこに住んだ人の心に脈々と良き思いとして残ります。いつまでも元気な町で在って欲しいです。



横浜市在住
まさとし
満田 正稔さん(66歳)
枝坂出身

市民のみなさんと共に 福祉のまちづくりを推進していくために

嘉麻市社会福祉協議会は、市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを推進していくため、毎年度会員の募集を行っています。

本会の活動に賛同して納めていただいた会員会費は、地域福祉充実のための活動や、新たな福祉課題に対応するための先駆的事業等の財源として活用させていただきます。ぜひ、ご理解いただきまして、福祉のまちづくりに会員としてご参加ください。



■会員の種別と金額 一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 3,000円/年額
お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751

この二枚の写真は、吉隈炭鉱第三坑の巻き場と棧橋を写したものです。巻き場というのは、右下写真の棧橋を通して実箱(石炭を積んでいる鉄の箱)を選炭場へ、空箱を坑内へと、スムーズに流れるように操作を行うところで、実箱がレールから脱線しないように注意を払って作業を進めていました。また、冬場は吹きさらしのため、寒さで手がかじかみ、時折ストーブで温めながら作業を行っていたそうです。



巻き場



実箱を運ぶ棧橋

(写真提供:田中幸祝さん)



炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。
嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。
(TEL 0948-42-0751)